



秋田発純国産の味わい 「魅せる品質」にこだわる

内壁に「LEGIT QUALITY」魅せるクオリティ」と大書きされた「デラックスウエア」社の縫製工場で、今期のなまはげジーンズの製造が進んでいた。

男鹿のなまはげよろしく「赤鬼」と「青鬼」の製品展開。レギュラーストレートの赤鬼に比べ、青鬼は気持ちスリム。なまはげ

の面をモチーフに、角から牙にかけてのラインを鋭利に交差させた後ろポケットのステッチと腰パッチの色で個性を出している。

本格ビンテージ仕様

本格的なビンテージ仕様。ボタンホールをかがるのは、ほ

ぼ100年前の米シンガー社の専用ミシン。実働中のものは世界に数台、スミソニアン博物館にも展示されている近代化遺産級の逸品だ。縫い目は力強くざっくり。自動化されたミシンでは出せない手仕事の味がある。所有するビンテージミシンは30台。

それぞれ重要な役割を担っている。



デニム地は国産ジーンズの古里・岡山県井原産15オンスの厚手。旧式の織機で織り上げた自然で温かな風合いは、はき込みによる色落ちや変化が楽しみ。国産へのこだわりは細部に及ぶ。「NAMAHAGE JEANS」と刻んだボタンも革の腰パッチも右の後ろポケット脇に縫い付けられ

た赤タグも国内メーカーへの特注品。

「素材の品質を確かめるためメーカーを訪ね、100%純国産にするため、職人が日本人であることを確認し発注。『そこま

でもありませ」と話すのは、小坂町出身の「デラックスウエア」代表取締役・村松隼人さん(42)。

高校時代古着に夢中になり、県外の自動車関連企業や古着店、アパレルメーカーを経て帰郷、2005年にアメリカジの企画・デザイン・製造・販売・卸を一貫して行う同社を立ち上げた。

県外から 聖地巡礼

ジーンズのほか、Tシャツ、トレーナー、革ジャンなど多様なオリジナルアイテムを手掛ける同社。日々、一定数を仕上げた後、職人が全品採寸するなど検品し出荷する。品質へのこだわりが信頼を呼び、取扱店は当初の5

店から70店に拡大した。全国

にファンが広がる中で、なまはげジーンズは大館市の直営店「ダリーズ&コー」だけが扱う真の秋田ブランドだ。

県外の取扱店の顧客が直営店や工場を訪ね来る「聖地巡礼」も盛ん。販売価格はファストファッションとは比較にならないが、圧倒的な品質とこだわりの手仕事で購入者の心をつかんで離さない。



株式会社デラックスウエア

本社 〒017-0893 大館市桂城8-3
TEL.0186-57-8508
直営店 ダリーズ&コー
〒017-0842 大館市馬喰町16
TEL.050-3734-8736

なまはげジーンズ「赤鬼」。なまはげ面の角から牙にかけてのラインをモチーフにした後ろポケットの赤いステッチや革パッチが特徴的。18,000円(税抜き)。「青鬼」も同価格